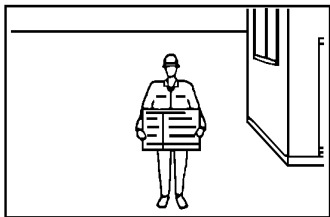


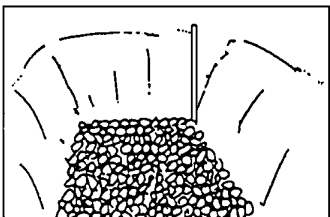
実績報告時 写真撮影ポイント



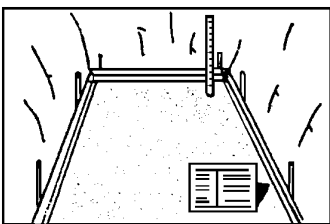
写真① 浄化槽設備士が実地監督を行っている写真
設備予定地で浄化槽設備士の方が正面を向き、標識を掲げます。
背景には工事を行う場所の周辺状況（地面・家屋など）が写るように撮影して下さい。



写真②-A 基礎工事の様子を表す写真（1枚の場合）
割栗作業を行った後、捨てコンクリートを打っているところを撮影します。

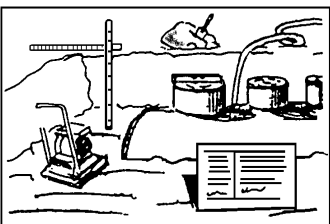


写真②-B 基礎工事の様子を表す写真（2枚の場合）
1枚目：割栗作業
栗石の突き固めが終わった後、スケールで厚さを示しながら撮影して下さい。

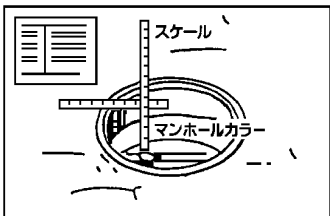


2枚目：
基礎コンクリートを打ち、十分に養生させた後、スケールでコンクリートの厚さが分かるように写してください。

※プレキャストコンクリート底板を使用する場合は、そのことがわかるように撮影してください。

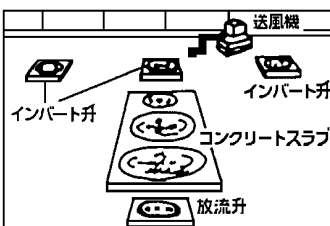


写真③ 据付工事の様子を表す写真
水張りを行い、本体の水平を確認しながら、埋め戻し作業を行っていることが確認できるように撮影して下さい
水準器・スケール・ホース突き固め用の器具（突き棒・ランマー等）・埋め戻し用土砂。



写真④ かさ上げの様子を表す写真
マンホールふたの高さから、バルブ等の操作が可能なことを示す写真です。
バルブ上端からマンホールふたまでの距離が分かるよう、スケールで計測している状況を撮影してください。

【浄化槽法定検査判定ガイドライン(環境省)では、嵩上げ高が原則 30cm 以下】



写真⑤ 工事完了の状況を示す写真
工事完了時の全景の写真として、標識をもっている浄化槽設備士及び周辺の景色を写しこむこと。